

すべての市民が健康で、心豊かに生きられるまちを目指して

近年、わが国の疾病構造は急速な少子高齢化・核家族化の進行やライフスタイルの多様化等により大きく変化し、がん、心疾患、脳血管疾患等の生活習慣病の占める割合が増加しており、健康に対する市民意識も年々高まっております。

本市では、平成15年1月に「健康市民おかやま21」を策定し、10年にわたって地域、家族、職域、行政等が連携して市民の健康づくり活動を推進してきたところであり、地域全体で健康づくりに取り組む体制整備が進むなど、着実に成果を挙げております。

また、平成21年にスタートした都市ビジョンにおいても、「最適な健康医療システムの構築」を主要政策の一つと位置づけ、心身の健康づくりの推進や地域医療システムの構築等に取り組んでいるところです。

しかしながら、高齢化が急速に進む中で、市民の主体的な健康づくりの促進や相談・指導体制の充実などを通して市民一人ひとりが生涯にわたって健康で心豊かに暮らせる環境づくりがますます重要となっています。また、青壮年期に対する取組や心の健康づくりの取組など、改善すべき課題も明らかとなっております。

こうしたことから、本市では、このたび、これまでの10年間の取組の分析・評価を行うとともに、関係組織・団体の方々のご意見を反映しつつ、次の10年を展望し、すべての市民が健康で心豊かに生きられるまちづくりの指針となる「健康市民おかやま21（第2次）」を策定いたしました。

本市としましては、前計画に引き続き、本計画に基づき、市民の健康づくり活動のさらなる推進に向けて全力で取り組んでまいり所存です。

終わりに、本計画の策定に当たりましての健康市民おかやま21推進会議委員をはじめ関係の皆様方のご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。

平成25年3月

岡山市長 高谷茂男